

TR-EQ1

取扱マニュアル ディップスイッチ設定マニュアル

2012年2月1日 第4版

Tri



TRIODE CORPORATION

株式会社 トライオード

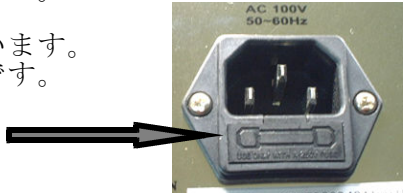
〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3

TEL : 048-940-3852
FAX : 048-940-3853

初期設定はDENON103に設定してあります

取り扱いおよび設置について

- 1, 入力端子にレコードプレーヤーからのRCAケーブルとアースラインを接続します。アースラインを接続しませんでしたと大きなハムノイズが出ますので御注意下さい。
- 2, 出力ラインをバランス出力端子またはアンバランス端子のどちらかに接続します。接続はどちらか片方のみで使用してください。
- 3, 電源ヒューズは125V3Aを使用しています。ヒューズホルダーは電源入力ソケット内です。

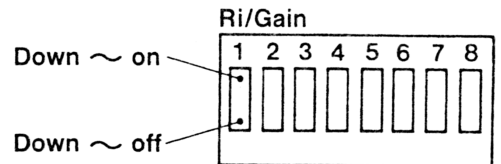
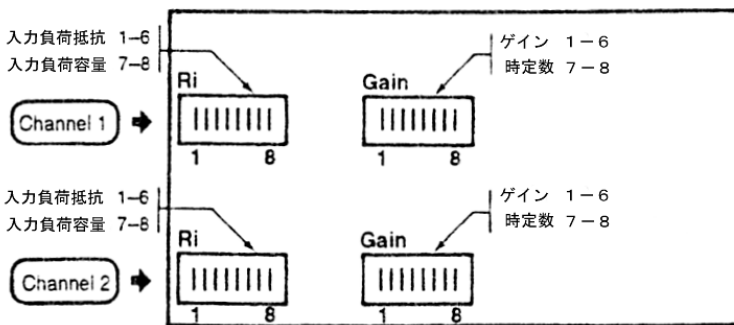
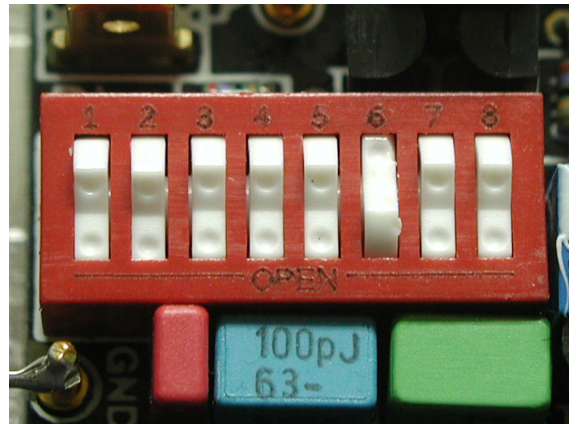
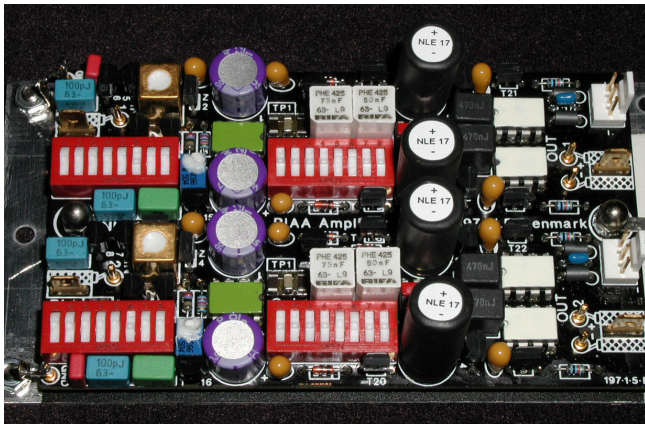


ディップスイッチ設定マニュアル

調整の際はアンプ本体のリア側を自分の方に向けて設定を行ってください

調整用ディップスイッチの位置関係について

本体上部にあるアルミのフタをドライバーで開けますと下記の写真の様にディップスイッチが見えます。また各ディップスイッチは上下に2個ずつありますので上下とも同じ設定にしてください。



ディップスイッチのON/OFF

アンプ本体のリア側

各ディップスイッチの設定に入りますが、最後のページに代表的カートリッジの設定例がありますので参照しながら設定してください

1) カートリッジの負荷インピーダンスの設定

左側の上下のディップスイッチの1から6番スイッチまでをカートリッジの負荷インピーダンス数値に合わせ下記のポジションに設定します。上下スイッチとも必ず同じ設定にします。また負荷インピーダンスが10Ω以下の場合は10Ωに合わせます。

Resistance [Ω]	DIP-switch "Ri" on	Resistance [Ω]	DIP-switch "Ri" on
10	1+2+3+4+5+6	100	3
15	1+3+4+6	150	4+5+6
18	1+4	180	4+5
20	1	200	4+6
25	2+3+4+5+6	250	4
30	2+3+5+6	400	5+6
40	2+4+6	600	5
50	2	1000	6
60	3+4+5+6	47k	- (All off)
70	3+4		
80	3+5+6		
90	3+6		

2) 入力容量の設定

左側の上下のディップスイッチの7、8番スイッチをカートリッジの入力容量に設定します。(カートリッジの入力容量が不明の場合は100 pFで使用してください。(7, 8番ともOFF))

Capacitance [pF]	DIP-switch "Ri" on
100	- (7+8 are off)
200	7
300	8
400	7+8

3) 出力電圧（ゲイン）の設定

右側の上下のディップスイッチの1から6番スイッチまでをカートリッジの出力電圧値に設定します。同じ値が無い場合はその数値よりも大きめの値にします。

MC/MM nom. DIP-switch output level "Gain" on [mV]			
0.10	5+6	1.0	4+6
0.12	6	1.1	3+4+5+6
0.15	1+5+6	1.2	2+3+4+5+6
0.18	1+6	1.3	3+4+6
0.20	2+5+6	1.4	1+3+4+6
0.25	2+6	1.5	2+3+4+6
0.30	1+2+6	1.6	2+3+5
0.40	3+5+6	1.8	1+2+3+5
0.45	1+3+5+6	2.0	2
0.50	3+6	2.5	4+5
0.55	1+2+3+5+6	3.0	1+2+4+5
0.60	2+3+6	3.5	3+4+5
0.70	1+2+3+6	4.0	1+2+3+4+5
0.80	4+5+6	4.5	2+3
0.90	2+4+5+6	5.0	1+2+3
		7.0	4
		8.0	1+2+4
		9.0	3+4
		10.0	1+2+3+4

4) 時定数の設定

右側のディップスイッチの7, 8番スイッチを使用する。このスイッチはSP盤用カートリッジなどRIAAカーブを修正する場合に使用します。通常のカートリッジの場合はディップスイッチ7, 8をONで使用します。

Time constants [μS]	DIP-switch "Gain" off
31.8	7
7950	8